

## (7)新左翼—フロントの歴史年表……………1973~1980

## ● 1973年

- 1月1日森恒夫(大阪市大・連合赤軍)、東京拘置所で自死
- 1月11日京都大学経済学部評議会—「竹本処分」決定
- 1月15日「烽火」281号「わが同盟の到達地平と部落解放運動(上)」  
「樺島弁護士事件に対するわれわれの態度」共産同(全国委員会)
- 1月×日 労働運動研究会結成
- 2月1日『ボルシェヴィズム通信』第8号
- 2月5日「烽火」282号「わが同盟の到達地平と部落解放運動(中)」
- 3月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第六回大会
- 3月×日共産同赤軍派第一回臨時総会—開催(連合赤軍指導部の除名等決議)
- 3月×日差別・分断・生活破壊と闘う全国労学交流集会(京大)  
「現代産業社会における臨時労働者」(全臨闘)  
「釜ヶ崎と高橋和己」(底辺委員会)  
「列島改造と住民闘争」(伊方共闘)  
「戦後史からの証言」(京大同学会)
- 3月×日共産主義者同盟国際主義派—結成(松原博志・機関紙「プロレタリア通信」)  
共産同(戦旗派)の分裂
- 3月×日革共同中核派—田川和夫除名
- 3月28日『遺稿 森恒夫』(査証出版)—発行
- 3月29日全国労働者共闘(労共闘)春闘討論集会(共産同(戦旗派)・東京)
- 3月30日「烽火」284号「わが同盟の到達地平と部落解放運動(下)」
- 4月×日前衛編集委員会第2回大会・共産主義者党へ改称(機関誌紙『世界革命』『前衛』)
- 4月×日共産主義労働者党全国協議会—結成(共労党プロレタリア革命派の改組)
- 4月30日『共産主義』16号(共産主義者同盟(RG))—発行
- 4月30日『共産主義』16号—共産同(戦旗派)
- 5月×日プロレタリア青年同盟全国協議会(プロ青同)—結成(プロ学同の改組)
- 5月5・6日革共同革マル派第7回大会
- 5月17日共産同赤軍派「革命戦争」編集委員会—結成・機関誌「革命戦争」
- 6月×日共産主義者同盟(戦旗派)第十二回中央委員会—分裂開始  
(日向翔派・機関紙「戦旗」、西田 輝派・「戦旗」、城山 徹派「プロレタリア戦旗」)
- 7月×日革共同中核派—杉 進也(沢山保太郎)・全国部落青年戦闘同志会代表・除名
- 7月×日『鉄の戦線』4号
- 7月20日「日本赤軍」・被占領地の息子たち・日航四〇四便ハイジャック闘争(ドバイ空港)
- 8月6日「前進」第646号「革命闘争と革命党の事業の堅実で全面的な発展のために」(本多延嘉)
- 9月×日共産同蜂起左派—結成(羽山太郎・機関誌『蜂起左派』-共産同蜂起派の分裂)

- 9月×日 三里塚闘争を支援する労働者の会(三支労)結成
- 10月10日『革命的暴力と内部ゲバルト』(国際革命文庫7・新時代社)―発行
- 10月×日『総括資料集』―発刊(共産主義者同盟赤軍派日本労働党建設準備委員会)
- 10月×日『蜂起左派』1号(共産同蜂起左派)
- 11月×日マルクス主義青年同盟(準)―結成(機関誌・紙『共産青年』『党旗])～京大L研幹部の肅清
- 11月14～21日日本共産党第十二回大会―「民主連合政府綱領」決定―「プロレタリアートの執権」へ改称
- 12月5日「戦旗」340号「七三年日向カクマル主義者の組織的脱落に関する声明」共産同(戦旗派)中央委員会
- 12月×日『蜂起左派』2号(共産同蜂起左派)

## ● 1974年

- ×月×日日本学生戦線(日学戦)―全国代表者会議(議長斉藤まさし・法政大、上智大、京大、同志社大)
- 1月×日日本労働党―結成(旧日本共産党佐賀県委員会・大隈鐵二・機関誌紙『労働党』『労働新聞])
- 1月26日ベトナムに平和を！市民連合(ベ平連)―解散
- 1月×日『新地平』創刊準備号～179号終刊・89年(新地平社)
- 1月31日「日本赤軍」・PFLP、シンガポール石油施設攻撃・クエート日本大使館占拠闘争
- 2月2日河北三男(元社会学同ML派、日本共産党革命左派神奈川県委員会)―死去
- 2月×日日本共産党(マルクス・レーニン主義)―結成(安斎庫治・機関誌紙『プロレタリア』『プロレタリア』  
日共(M・L主義)山口県委員会と日共再建準備委員会の統合)
- 3月×日共産同プロレタリア派―結成(竹内陽一、上田育子・機関紙「プロレタリア」)  
首都青年労働者社会主義研究会(首都社研)・反帝学生戦線
- 3月×日労働者党全国委員会―結成(旧共労党・樋口篤三・機関誌『革命の炎』)
- 3月15日『革命戦争への邁進か 革命戦争への敵対か』(共産同国際主義派)
- 4月15日革共同革マル派-対革共同中核派「勝利宣言」
- 4月28日破防法―予防ファシズム体制粉碎集会(京都大学)
- 5月×日『蜂起左派』3号(共産同蜂起左派)
- 5月4・5日革共同革マル派第8回大会
- 5月13日第一次「法政大会戦」(革マル派と中核派の激突・革共同中核派東京東部地区委員長死亡)
- 5月15日5・15 武闘派共闘-結成(共産同(蜂起派)、日本共産党(革命左派))
- 5月21日第一回全国精神障害者交流集会―全国「精神病」者集団・結成
- 5月30日三里塚世直し集会(東京日比谷公会堂・戸村一作、参議院選挙立候補)
- 6月×日共産同赤軍派第二回臨時総会
- 6月26日第二次「法政大会戦」
- 6月30日革共同中核派・革マル派第二印刷所「ホオトク」襲撃
- 7月1日革共同革マル派―対革労協「勝利宣言」
- 7月3日「マルクス・レーニン主義通信」NO1―発行(共産同(全国委)ML主義派)
- 7月7日共産主義者同盟(戦旗派)政治集会(「血債・猛省」集会・東京)
- 7月7日戸村一作(三里塚空港反対同盟委員長)・参議院選挙立候補(約33万票落選)  
「戸村一作と三里塚闘争に連帯する会」―結成

- 7月29日機関紙「解放」(革共同革マル派)—「権力謀略論」主張開始
  - 8月3日島田事件対策協議会青年婦人部—結成(赤堀闘争の開始)
  - 8月5日共産主義者同盟(「遊撃」派)—結成(古賀 遼、垂水俊介)  
(共産同再建準備委員会の分裂・機関誌紙『ボルシェヴィキ』『遊撃』)
  - 8月×日共産同全国委員会(マルクス・レーニン主義)-共産同全国委の分裂  
(伊集院~首都圏委+東北地方委~機関誌紙『鉄鎖を砕け』『マルクス・レーニン主義通信』)
  - 8月×日日本共産主義革命党(再建)第十回大会(書記長—朝日健太郎)
  - 8月×日マルクス主義青年同盟—結成
  - 8月20日『蜂起左派』4号(共産同蜂起左派)
  - 8月30日東アジア反日武装戦線(狼隊)—三菱重工業ビル爆破~以降、企業爆破闘争
  - 9月4日共産同赤軍派日本委員会—結成(高田英生・機関誌紙『赤軍』『赤軍』)
  - 9月13日「日本赤軍」、ハーグ(オランダ)の仏、米大使館占拠
  - 9月13日高野 実(元総評事務局長)—死去
  - 9月×日『マルクス・レーニン主義通信』臨時号(共産同(全国委)マルクス・レーニン主義派)
  - 10月×日統社同第十回大会(議長—朝日健太郎~高田麦書記長除名)
  - 10月×日共産同赤軍派(プロ革)派—結成(塩見孝也・八木健彦・高原浩之他・機関誌紙『赤軍』『赤軍』  
永田洋子・植垣康博・坂東国男加入)
  - 10月5日「烽火」第299号(8月×日伊集院光秀・園内 悟・林 正信・原田大三郎・野本純一~除名)
  - 10月14日東アジア反日武装戦線(大地の牙隊)—三井物産本社ビル爆破
  - 10月31日狭山差別裁判・東京高裁寺尾差別判決糾弾集会(日比谷公園2万名)
  - 11月18日米大統領フォード来日阻止闘争(マル青同—米ソ大使館火炎瓶攻撃)
  - 11月×日日本赤軍—正式結成(在アラブ)
  - 11月×日「遠方から」編集委員会—機関誌・紙『遠方から』『遠方からの手紙』—創刊  
(松本礼二事務所・長崎 浩、石井暎禧、篠田邦雄)
  - 11月22日「八鹿高校差別事件」(兵庫県)
  - 12月18日『赤軍』再刊準備1号—共産同赤軍派(プロ革)
- 1975年**
- 1月×日共産同全国委員会東北地方委員会(機関紙「赤炎」)—共産同全国委(ML)の分裂
  - 1月31日~2月1日日本共産青年同盟(共青同)—結成大会  
(日本革共同系・学生インター+ILC・機関誌『青年戦線』)
  - 2月6日政治集会(同大全学闘・滋賀大経済学部自治会~非合法党建設路線を提起・機関紙『戦報』)
  - 2月14日東アジア反日武装戦線(さそり、狼、大地の牙合同隊)・間組本社ビル爆破
  - 2月×日八木沢二郎、永井武夫—共産同(全国委員会)離脱
  - 3月14日革共同革マル派、革共同中核派・本多延嘉書記長襲撃・死亡—
  - 3月17日「復讐の全面戦争に突入せよ!」(「前進」革命的共産主義者同盟政治局)
  - 4月1日『遠方から』第2号
  - 5月×日『プロレタリア独裁』1号発刊・プロレタリア独裁編集委員会—結成(旧赤軍派臨総派)

●5月×日共産同全国委員会(ボルシェビキ)—共産同全国委の分裂

(生田民生、本田篤紀、加納英二・・機関誌『マルクス主義』『プロレタリアの旗』)

●5月25日マル青同、岡山大学北津寮武装襲撃(大沢 真・岡大生殺害)

●6月10日『遠方から』第3号

●6月25日船本洲治(暴力手配師追放釜ヶ崎共闘会議・釜共闘)—焼身決起(沖縄)

●6月27日「革共同両派への提言」(色川大吉・井上光晴・対馬忠行・埴谷雄高・もののべながおき)

●7月1日『マルクス主義』創刊号(通巻16号)—共産同全国委員会(ボルシェビキ)

●7月5日『マルクス・レーニン主義』創刊号(共産同赤軍派「マルクス・レーニン主義」編集委員会)

●7月14日革共同中核派・沖縄青年委員会—防衛庁・三菱石油本社等同時多発火炎瓶攻撃

●7月15日共産同赤軍派(マルクス・レーニン主義派)—結成(高原浩之)

赤軍派プロ革派の分裂・機関誌『マルクス・レーニン主義』『革命通信』

●7月17日皇太子訪沖弾劾「ひめゆりの壕」火焰ビン投擲(沖縄解放同盟・準、共産同戦旗派)

●7月20日『赤軍』再刊準備2号—共産同赤軍派(プロ革)

●7月20日『ボルシェヴィキ』創刊準備号(共産同中央委員会—遊撃派)

●7月×日反覇権通信編集委員会—結成(機関紙「反覇権通信」、日本共産党革命左派の分裂)

●7月31日革共同(全国委員会)政治集会(北小路 敏報告)—「先制的内戦戦略」の提起

●8月4日日本赤軍、クアラルンプル米大使館占拠(獄中メンバー5名の釈放)

●8月10日日本共産党の労働組合支配介入糾弾共闘会議(日共糾弾共闘会議)—結成(大阪)

●8月×日「朝鮮侵略戦争の歴史的前夜における革命党の基本的任務体系」

(津久井良策=清水丈夫『共産主義者』第27号)

●9月15日自衛隊武器補給処攻撃闘争(労働者共産主義委員会)—「爆弾爆破事故」(1名死亡)

●9月×日「九・一五自衛隊攻撃闘争」爆取り弾圧—労働者共産主義委員会～五分解・

①労共委全国委員会中央委員会(東京都委員会)—機関紙「怒濤」

②労共委臨時中央委員会(成島忠夫G)—機関紙「怒濤」

③労共委神奈川県委員会(田野井利明)—機関紙「プロレタリア革命」

④労共委再建中央委員会→労働党共産主義委員会—機関紙「労働新報」

⑤日本革命党—機関紙「進路」

●9月20日『マルクス主義』2号(通巻17号)—共産同全国委員会(ボルシェビキ)

●9月24日共産主義者同盟大会(叛旗派)—党内論争・分解公然化

●9月25日「革命通信」創刊号(共産同赤軍派ML主義)

●9月30日天皇訪米阻止闘争・羽田周辺デモ

●10月×日「現代革命と先制的内戦戦略 「革共同の内戦論」に具体化」(織田武雄=野島三郎)

●10月10日『季刊労働運動』第7号(再刊・柘植書房)

●10月12日労働青年同盟結成準備会—旧民学同『新時代』派・77年3月機関紙「青年の旗」

●10月12日三里塚空港粉碎・総決起集会

●10月15日「叛旗」97号「我が同盟内論争の原則と経緯」(「総括と展望」三上 治)公表—三上 治離党

●10月30日「革命通信」第2号

- 11月22日「11・22 在日韓国人留学生・青年不当逮捕を救援する会」—開始
- 11月30日「革命通信」第3号
- 11月26日～12月3日国労・公労協(公協企業体等労働組合)—「スト権奪還スト」～(三公社五現業)
- 12月15日部落解放同盟・部落解放中央共闘会議—結成

## ● 1976年

- 1月×日日本革共産同(第四インターナショナル日本支部)第八回大会
- 1月15日「革命通信」第4号
- 2月5日全関西総決起集会(同大全学闘・関大連合戦線)
- 2月10日東北大学処分粉碎集会(仙台千名)
- 2月23日三里塚空港粉碎・現地相決起集会
- 3月14日革共同中核派「三・一四宣言—革共同の新たな戦闘宣言」(織田武雄)
- 3月×日共産同(「紅旗」派)—結成(機関誌『紅旗』『紅旗』)  
(共産同全国委員会(ポリシェビキ)+プロレタリア独裁編集委員会)
- 4月11日京都大学バリケード・スト(学費値上げ阻止)
- 4月15日『遠方から』第4号
- 4月20日『ボルシェヴィキ』創刊号(共産同中央委員会—遊撃派)
- 4月20日「烽火」第301号(再刊301号路線「臨時指導部声明」)
- 4月30日青年共産主義委員会政治集会—評議会共産主義の提起
- 5月1日「革命通信」第6号
- 5月3・4日革共同革マル派第9回大会
- 5月23日狭山差別裁判勝利中央統一集会
- 6月15日「侵略反革命阻止全国政治共闘」結成  
(共産同全国委・戦旗派(西田派)・遊撃派・赤軍派プロ革派・首都社研—五派共闘)
- 6月15日ベトナム革命勝利政治集会—共産同戦旗派(日向派)・共労党・第四インター
- 6月18日政治集会(吉本隆明講演)(三上 治・品川公会堂)
- 7月×日釜ヶ崎日雇労働組合(釜日労)—結成
- 7月28～30日日本共産党第十三回臨時大会—「自由と民主主義の宣言」決定(綱領から、「プロレタリアートの執権」の削除・「マルクス・レーニン主義」の「科学的社会主義」へ改称)
- 8月8～10日全国障害者解放運動連絡会議(全障連)—結成(機関誌『全障連』)
- 8月20日雑誌『乾坤』1—創刊(三上 治責任編集・乾坤社(共産同叛旗派の分裂))
- 9月1日『リバイアサンをわが手に—第三勢力の選挙教程』—発行(遠方から編集委員会)
- 9月8日大塚有章(毛沢東思想学院・元日本共産党)—死去
- 9月15日「革命通信」第8号
- 11月10日「天皇在位50年記念式典」反対闘争
- 11月21・22日赤堀闘争第三回全国大行動集会(静岡・全障連等)
- 12月19日「叛旗解体」政治集会(共産同叛旗派)
- ×月×日『地鳴り』—創刊(共産主義者同盟『地鳴り』団、佐々木和雄他)

## ● 1977年

- 1月15・16日第一回全国労働者討論集会(大阪・全金港合同田中機械支部)
- 2月6日三里塚決戦勝利(百万人動員)関西実行委員会—結成
- 2月11日革マル派、革労協・笠原正義(中原 一)書記長襲撃・死亡
- 2月22日宇野弘蔵(マルクス経済学者)—死去
- 2月25日『労働情報』創刊準備号・発刊
- 2月×日共産同マルクス・レーニン主義派第1回大会
- 3月14日革共同中核派「三・一四アピール—勝利への怒濤の進撃」(織田武雄)
- 3月×日共産同(紅旗派)—分裂(生田・松平派と本田・加納派)
- 4月1日「革命通信」第12号
- 4月×日「紅旗」第12号(編集人・上原)—「中央委員会声明」「紅旗」停刊発表(加納派)
- 4月15日革労協—革マル派・藤原隆義(杜 学)等四名襲撃—死亡
- 4月17日三里塚空港粉碎、鉄塔死守、仮処分粉碎全国集会(2万3千人)
- 4月28日竹本処分粉碎全学集会(京都大学千名)
- 5月6日三里塚岩山大鉄塔抜き打ち撤去
- 5月8日三里塚・岩山大鉄塔撤去抗議集会(千代田農協)—東山 薫君虐殺
- 5月19日同志社大学友会・全学学生大会—全学闘派排除決定
- 5月25日『鉄鎖を砕け』創刊号(共産主義者同盟(全国委)マルクス・レーニン主義派)
- 5月28・29日革共同革マル派第10回大会
- 5月30日日本赤軍—「5・30 声明—団結をめざし、団結を求め、団結を武器としよう」
- 6月18日竹本処分粉碎大衆団交(京都大学第二次竹本処分粉碎闘争—竹本処分決定)
- 8月23日狭山差別裁判・最高裁上告棄却糾弾中央集会(代々木公園3万人)
- 9月28日日本赤軍、ダッカ日航機ハイジャック闘争(獄中メンバー六名の釈放)
- 10月9日三里塚空港粉碎・ジェット燃料輸送阻止集会
- 10月17~22日日本共産党第十四回大会
- 10月30日日本共産党中央統制委員会—袴田里見除名

## ● 1978年

- 1月×日塩見孝也—共産同赤軍派(プロ革)離党
- 2月×日三里塚闘争労働者行動調整委員会—結成  
首都青年社研(共産同プロレタリア派)、首都圏行動委員会連合(前衛派)、  
全国一般労組南部支部、全逵埼玉(主体と変革派)、ゼネラル石油精製労組
- 2月15日共産同赤軍派(プロ革)機関紙「赤軍」26号(塩見孝也・八木健彦除名報告)
- 2月16・17日三里塚・横堀要塞防衛闘争
- 2月21日関西刑法改「正」保安処分粉碎連絡会議—結成
- 3月26日三里塚開港阻止決戦・空港包囲大行動総決起集会  
三里塚・管制塔突入占拠闘争  
(三里塚を闘う全国青年学生共闘+三里塚を闘う青年先鋒隊+全国労働者共闘会議)



- 5月20日(「成田空港」開港)
- 7月25日『鉄鎖を砕け』第二集(共産同(全国委)ML主義派)
- 8月×日共産同マルクス・レーニン主義派第2回大会
- 11月11日『季節』(季節編集委員会)—創刊号(松岡利康・鹿砦社)

## ●1979年

- 1月×日東大闘争十周年記念全国集会(東大文学部自治会・京大同学会・同大学友会等)
- 1月×日立志社—結成(斉藤まさし、日学戦、三支労等・機関紙「アカハタ」→80年「新生」)
- 2月25日『マルクス・レーニン主義』2号(共産同マルクス・レーニン主義派)
- 3月×日日本社会科学研究所(マルクス・レーニン主義、毛沢東思想)—結成(塩見孝也)  
機関誌紙『マルクス主義』『労農通信』—共産同赤軍派プロ革派-分裂
- 3月30日国鉄千葉動力車労働組合(千葉動労)—動労千葉地方本部の分離・結成
- 4月11日横瀬毅八(対馬忠行・マルクス・トロツキー研究者)—死去
- 5月×日革命的共産主義者同盟革マル派第12回大会—動労千葉問題
- 5月30日『共産主義』17号(共産同RG)
- 6月9日磯江洋一、山谷マンモス交番警察官刺殺(6・9の会結成)
- 7月1日雑誌『インパクション』—創刊号～(鶴飼 哲等・インパクト出版会)
- 7月×日共産同(「革命の旗」派)結成—(共産同マルクス・レーニン主義派と共産同遊撃派)  
機関誌紙『長征』『革命の旗』
- 7月×日『労活80』—創刊(東京都労働組合活動家会議)
- 9月5日『同志』第1号—創刊(共産同戦旗派)
- 9月×日労働者共産主義委員会(中央委員会「怒涛」派)—日本共産党(マルクス・レーニン主義)に合流
- 9月23日伊藤 律(元日本共産党)帰国(中国拘留29年)
- 10月×日季刊『クライシス』1号(～40号1990年・社会評論社)
- 10月8日『長征』創刊号—共産主義者同盟(革命の旗)
- 11月2日戸村一作(三里塚空港反対同盟委員長)—死去
- 11月25日季報『唯物論研究』創刊—田畑 稔・唯物論研究会
- 12月5日『同志』第2号(共産同(戦旗派))

## ●1980年

- 1月1日『鉄の戦線』5号(共産同蜂起派)
- 1月10日共産同(紅旗派)—共産主義者同盟(労働者組織委員会)吸収
- 2月×日共産同(戦旗派)第一回同盟員総会(戦旗・共産主義者同盟へ改称)
- 2月26～3月11日日本共産党第十五回大会(「革新統一懇談会」提唱)
- 2月×日革共同「勝利に向かっの試練」編集委員会—  
(革共同分派機関誌『勝利に向かっの試練』革共同の分派・上口孝夫)
- 4月15日『遠方から』第5号(終刊)
- 4月20日筑波大学闘争支援全国学生集会(明治公園千名)
- 4月20日『同志』第3号

- 6月21日**社会主義学生同盟(再建)大会(戦旗・共産同系・機関誌『若きボルシェヴィキ』)**
- 6月30日『理論戦線』13号(戦旗・共産主義者同盟)
- 7月15日**日本共産党(行動派)再建第七回大会—結成(議長・大武例一郎)**  
日本マルクス・レーニン主義運動と共産同(国際主義派)の統合
- 8月3日**戦旗・共産主義者同盟政治集会(東京)**
- 8月×日**村岡 到・日本革共同を離党・「政治グループ稲妻」—結成・機関誌『稲妻』**
- 8月20日『**紅旗**』創刊号(共産主義者同盟(紅旗))
- 8月20日『同志』第4号
- 9月×日**青年共産主義者同盟・準(青共同)—結成・旧共産主義研究会**  
元社会主義協会大田派・機関誌「マルクス・レーニン主義を掲げて」→「国際主義」
- 9月15日**三里塚現地集会(革労協主流派、労対派部隊を襲撃・分裂)**
- 9月15日『若きボルシェヴィキ』第1号(社会主義学生同盟—戦旗・共産同系)
- 10月30日**革共同中核派、革マル派学生五名を襲撃(東京—5名死亡)～治安弾圧化**
- 11月1日『理論戦線』14号(戦旗・共産同)
- 12月×日**京都大学同学会・金大中死刑阻止！バリケードスト(京都三大学共闘)**